

# JR総連通信

2018年 2月6日 No.1262

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## JR総連第40回定期中央委員会

統一ベア要求

# 6,000円

JR総連は2月2日、第40回定期中央委員会を開催し、統一ベア要求6,000円をはじめとした当面する方針を満場一致で確認した。委員17名から発言を受け、①2018JR総連春闘 ②安全確立 ③鉄道の未来 ④平和 ⑤組織拡大などについて討論を行った。



### 委員会宣言

JR総連は2月2日、目黒さつきビル会議室において第40回定期中央委員会を開催し、2018JR総連春闘をはじめとした当面する活動方針を満場一致で確立した。

私たちは、国鉄改革の原点を基軸に、労働条件の向上と平和な社会を実現するために、すべての仲間の実践を通じて、組織の強化と各単組・労連の未来を切り拓いていこうではないか。

安倍首相は、高所得のサラリーマンを狙い撃ちにした所得増税など労働者には「ムチ」を、企業には3%を上回る賃上げと設備投資を条件に法人税減税という「アメ」をちらつかせている。また、経営側も政府の意向に呼応し、経労委報告で「個人消費活性化に向けた『3%の賃金引上げ』との社会的期待を意識し」「自社の収益に見合った前向きな検討が望まれる」としながらも、その手法は「年収ベースの引き上げ」にこだわっている。

一方連合は、定期昇給を確保した上で「2%程度を基準」とする賃上げ方針を決定した。私たちJR総連は連合方針に則り、統一ベア要求「6,000円」を掲げ、格差ベアを含む労働者の格差・分断を許さず、JR総連各単組・地協・労連の統一闘争として、非正規雇用の正社員化ならびにJRグループ労働者の一律賃上げと過重労働の撲滅に向けてたたかい抜く。

昨年12月11日、博多発東京行き「のぞみ34号」の車両の台車に亀裂や油漏れが見つかり、名古屋駅で運転を取りやめるという重大なインシデントが発生した。この事象で特に問題なのは、異常が見つかりながらも列車を約3時間、走行させていたことである。この事態は脱線・転覆にもつながるものであり、福知山線脱線事故を想起させ、安全より営利優先・運行優先の体質がまたしても明らかとなった。

また、12月16日には、JR京浜東北線の鶴見―川崎駅間で架線が切れ、京浜東北線が7時間にわたって運転を見合わせる事態が発生した。この事故は工事ミスが原因であるとされているが、列車を止められず、運行を優先してしまった現実も見え隠れしている。

私たちは、生命をすべての価値基軸に、安全を最優先する企業風土の再確立と、世代交代期における着実な技術・技能を継承するためにたたかう。

国鉄改革から30年が経過し、鉄道の未来が危ぶまれる事態に直面している。私たちは、JR北海道の「事業範囲の見直し」や他のJR各社に見られる赤字ローカル線の切り捨てを許さず、国鉄改革のスキームを基軸に、「愛され、親しまれ、利用される鉄道」をめざして、地域と共に鉄道の未来を切り拓くためにたたかっていく。

安倍首相は「今年こそ憲法のあるべき姿を国民に提示し、改憲に向けた国民的な議論を一層深めていきたい」と述べ、2018年中に改憲案の国会発議を目指している。昨年の第48回衆議院議員選挙で国会での改憲勢力は約8割にも達し、反対勢力を弾圧するための「共謀罪」が施行された中で、改憲発議、国民投票という政治日程が現実味を増している。

私たちは、憲法改悪の国民投票を見据え、全組合員とその家族、友人・知人が「改憲反対」の意思を示せるように、身命を賭す覚悟で組合員の政治意識を高め、たたかい抜かなければならない。

JR総連は、沖縄で新基地建設に反対したたたかい抜いている仲間たちと固く連帯し、憲法改悪を阻止し、賃上げの実現と労働条件の維持・向上、立憲主義と平和・人権・民主主義を守り、脱原発で安心して暮らせる社会を実現するために、職場からの運動を基礎に組織一丸となって奮闘していくものである。

以上宣言する。

2018年2月2日

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連）  
第40回定期中央委員会